

「キャリア形成促進プログラム」の実践事例

事例 「教育・社会福祉専門課程 社会福祉科」 (京都府、学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校)

4年制大学卒業生や一定の社会人経験を積んだものを主な対象とし、社会・人の変化を読み取る力、社会資源の創出等、専門的な知識や技術を学び、新たなキャリア形成を促進することを目的とする。

概要

- 福祉に関わる相談・助言・指導を適切に行うことができる。
- 保健医療福祉サービスの関係者と信頼関係の下、連絡及び調整を図ることができる。

【特徴】

- ソーシャルワークの基礎知識や技術、福祉サービスだけでなく、医学や心理学、社会学など多岐にわたり学ぶ。
- 実際に福祉の現場において相談援助を学ぶことで、授業で学んだ知識や技術を具体的に活用できるようになる。
- 社会福祉士としての資質や技術、倫理や課題を把握するための総合的な能力を身につける。
- 社会人受講者数 18人／27人 (2020年度)

【社会人が受講しやすいための工夫】

夜間1年生のプログラムであり、またワーク&スタディ制度を活用し働きながら国家試験を目指せる工夫を実施。

主なカリキュラム

〔演習・実習指導〕

- 3つの段階で演習を組み立てている
 - ステップ1 : 「自己覚知」「自他に対する気づき」
 - ステップ2 : 「事例研究」
 - ステップ3 : 「ドラマ (演劇) の要素を取り入れたロールプレイ」
- 実習をより良いものにするため、実習指導者・教員が、実習計画の段階から協働して、学生の学びを支える体制を構築。

〔科目講義〕

- 知識習得に際し、個々のニーズに合わせた個別対応を実施。
- 国家試験に共に合格するというモチベーションを構築する。
- 2020年度は、コロナウイルス感染対策のためオンライン授業と対面授業併用で実施。

